

教科名	国語	科目	国語	授業時間	3時間
-----	----	----	----	------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語 2」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 2」（東京書籍）

：「国語の学習 2」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）

問題集：「練成テキスト 中2国語」（育伸社）

2. 授業の目標および内容

「読む」という言語活動を中心に、適宜書いたり、話したりすることを通して思考力を養い、またその基盤となる言語に関する知識を習得しながら、より豊かな人格の形成と基礎的な言語運用能力の育成を目指します。また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

※内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、問題集や、作文、読書感想文の提出などです。

5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	①未来へ ①手紙の効用 ①短歌を楽しむ ②字のない葉書 ②辞書に描かれたもの ②わたしが一番きれいだったとき	○韻文を鑑賞し、ものの見方を広げる。 ○修辞法の総復習を行う。 ○自分の知識や経験を交えて、手紙・言葉への考えを広げる。 ○短歌に詠まれた情景や心情を想像し、短歌を音読して読み味わう。 ○言葉遣いや語調・行動や態度から登場人物の心情を読み取り、人物像を捉える。 ○反戦の詩に触れ、戦争と平和について考える。	* 語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
2	①ハトはなぜ首を振って歩くのか ①黄金の扇風機 ①サハラ砂漠の茶会 ②枕草子 ②徒然草 ②平家物語 ②漢詩	○文章と図表を結びつけて読み、図表の役割と効果を考える。 ○接続語や指示語を理解し、段落の役割や段落同士の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○具体と抽象、意見と根拠などに注目して、筆者の主張を読み取る。 ○抽象的な概念を表す語彙を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○古典に触れ、ものの見方、考え方を学ぶ。 ○七五調、対句などの表現の特徴を意識しながら、描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。 ○漢詩特有のリズムを味わい、古典に親しむ。 ○現代語訳や脚注を手掛かりにして、漢詩に描かれている情景や筆者の心情を捉える。	* 語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
3	①走れメロス ①「正しい」言葉は信じられるか	○場面の展開を捉え、登場人物の心情の変化に着目して、作品を読み深める。 ○語句の使い方、表現、文体に注意し、人物像を考える。 ○具体と抽象に注目して、筆者の考えを捉える。 ○同音異義語を体系的に学習し、語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて小説の読解演習を行う。	* 語彙に小テストを実施し、語彙を豊かにする。